

開会のご挨拶



乾 明夫 先生

フレイル漢方薬理研究会 代表世話人
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科
漢方薬理学講座 特任教授

フレイル漢方薬理研究会は、先端的研究を一般臨床に普遍化し、人参養栄湯のフレイル病態への応用を進め、以って漢方製剤を用いた高齢者医療のさらなる発展に寄与することを目的とし、2016年11月に発足いたしました。世話人の先生方はもちろんのこと、全国の多くの諸先生にご支援ならびにご協力をいただきながら、着実に成果を上げつつあります。

学術集会も第6回を開催する運びとなりました。今回は、より多くの先生と対面での討論をしたいと考え、大阪会場(8月6日)と東京会場(9月2日)の2会場で開催いたします。

セッションⅠでは「フレイルに関する最新の話題」として2演題のご講演をいただきます。セッションⅡでは「低栄養と人参養栄湯」をテーマに3演題のご講演、さらには各演題の座長とシンポジストの先生方、フロアの先生方とのディスカッションをとおして、本テーマをさらに掘り下げたいと考えております。

そして、特別講演には本研究会に最も相応しい荒井秀典先生(国立長寿医療研究センター理事長；大阪会場)、秋下雅弘先生(東京大学大学院医学系研究科 老年病学 教授；東京会場)をお招きし、フレイルに対する漢方・人参養栄湯の可能性を最新の知見を交えながらご講演いただきます。

超高齢化の進展においてフレイルへの対策は、われわれにとりましては非常に大きく、しかも喫緊の課題であることは言うまでもありません。ぜひ、多くの先生とこの課題に取り組んでまいりたいと考えております。